

⑥ 東部地域の景観特性と景観資源

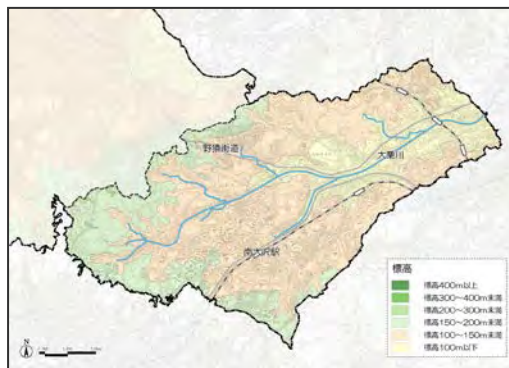


図 東部地域の区域及び地形

ア) 地域の景観の現況と特性

本地域は、起伏に富んだ地形の中に、大栗川以南の整然としたまち並みの多摩ニュータウンとそれを取り囲む丘陵地、大栗川から北側の多摩丘陵とその緑に包まれた落ち着いた佇まいの住宅地が広がっている地域です。

計画的に開発された多摩ニュータウンでは、商業施設が多く立地している京王線の南大沢駅や京王堀之内駅の周辺、多摩ニュータウン通り沿道のまち並みや、一体的にデザインされた住宅地、水と緑に囲まれた長池公園等により、総じて質の高い景観が形成されています。一方、地域北部の多摩丘陵には、近世の街道であった往時の姿を残す絹の道や、自然の緑を活かした堀之内寺沢里山公園があり、丘陵地から市街地への眺望が開けている等、多彩な自然的景観資源にも恵まれています。

近年多摩ニュータウンでは、周辺のまち並みとの調和が感じられない二次開発の進行や、多摩ニュータウン通りや野猿街道等の幹線道路沿道における過剰なデザインの屋外広告物の増加等が顕在化しつつあり、高質な市街地景観の維持と建築物や工作物の適切な誘導が求められます。

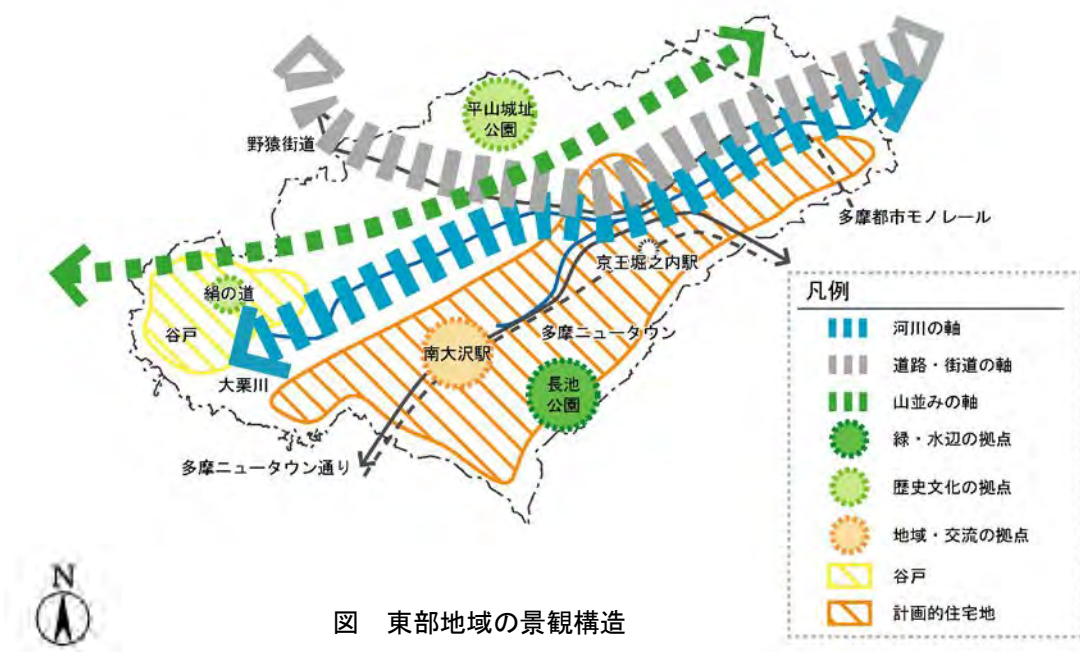


図 東部地域の景観構造



多摩ニュータウンの戸建て住宅地

多摩ニュータウン

多摩ニュータウンでは、戸建て住宅、中高層住宅ともに、計画的な住棟や緑地の配置、相互の建築デザインの調整等が進められたことにより、緑豊かな良好なまち並みが形成されています。



多摩ニュータウンの中高層住宅団地

多摩ニュータウン通り

多摩ニュータウン通りの沿道には、郊外型の店舗等が立地し画一的な沿道景観が形成されつつある一方で、ケヤキ等の街路樹が大きく育ったことによって豊かな緑がもたらされ、潤いを感じられる景観となっています。



多摩ニュータウン通り

絹の道

生糸を輸出するために横浜港へ運ぶための通商路として栄えた当時の面影を残す絹の道は、八王子の歴史や豊かな自然環境を感じることができる重要な景観資源として、沿道の谷戸の景観とともに大切にしていきたいことが求められます。



絹の道

長池公園

長池公園は、豊かな水と緑に囲まれたレクリエーションの場として多くの市民に親しまれています。園内から見渡す丘陵地の緑への眺望や、見附橋の上からの眺めは、緑・水辺の拠点にふさわしい潤いのある景観です。



鍵水の谷戸



長池公園

イ) 景観資源図

